

# 宜野座村 平成28年度決算の財務書類（一般会計分）

## 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表（バランスシート）は、会計年度末に宜野座村が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、宜野座村の財産や負債など（ストック情報と言います）、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
有形固定資産	31,461,854	固定負債	3,237,023
無形固定資産	279	地方債	3,012,546
投資等	2,950,531	退職手当引当金	224,477
投資及び出資金	124,859	その他	0
投資損失引当金	0	流動負債	379,069
長期延滞債権	13,489	1年内償還予定地方債	290,349
長期貸付金	0	未払い金	2,780
基金等	2,812,646	賞与引当金	49,075
その他	△ 463	その他	36,865
流動資産	1,106,088	負債合計	3,616,092
現金・預金	265,560	【純資産の部】	
未収金	7,245	純資産合計	31,902,660
基金	833,793		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 510		
資産 合計	35,518,752	負債+純資産 合計	35,518,752

道路や学校など村が保有する公共施設の総額。

特定目的で積み立てた基金や出資金などの総額。

現金・預金と現金化しやすい村税などの未収金の総額。

地方債の残高や退職手当などの総額。将来世代が負担する金額。

道路や学校等の整備の財源として受けた国や県からの補助金や村税などの総額。これまでの世代が負担してきた金額。

## 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入（税収や国・県からの補助金等）があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純経常行政コスト等が計上されます。

単位：(千円)	
前年度末の残高	30,979,149
純行政コスト	△ 3,633,031
財源	4,543,165
資産評価差額	13,196
無償所管換等	184
その他	△ 3
本年度末の残高	31,902,660

平成28年度決算では、純資産が約9億2千万円増加しています。これは資産の減少より負債の減少のほうが多かったことを示していて、平成28年度決算では資産・債務のバランスがやや良い傾向にあったことがわかります。

## 資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかがわかります。

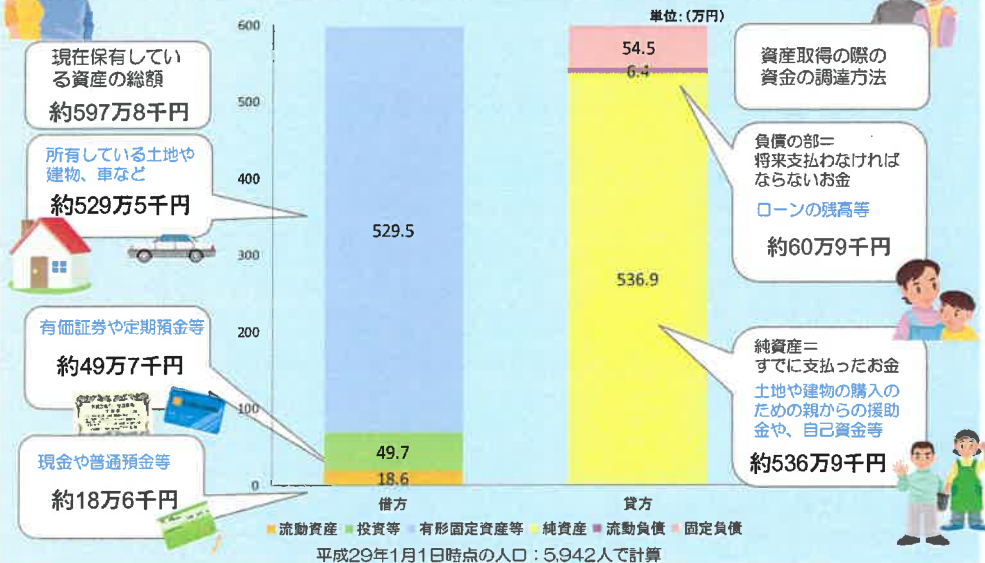
単位：(千円)	
前年度末の残高	167,765
業務活動収支	1,495,774
投資活動収支	△ 1,402,043
財務活動収支	△ 32,801
本年度の資金変動額	60,930
本年度末の残高	228,695

**業務活動収支**  
行政サービスの提供が必要となる人件費や物件費などの支出と、税金などによる収入が計上されます。

**投資活動収支**  
道路や公共施設の取得のために支出した金額と、その財源となった公債や補助金が計上されます。

**財務活動収支**  
支出には基金への積立額や公債の償還額が、収入には公債発行収入や貸付金の回収額等が計上されます。

## 貸借対照表を村民1人あたりに換算すると...



## 行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得（土地や建物の購入等）にかからない支出と、行政サービスの直接的な対価として得られた収入を計上しています。

区分	金額
経常費用	5,956,006
人にかかるコスト	994,621
物にかかるコスト	2,142,753
その他のコスト	48,531
移転支的コスト	2,770,101
経常収益	2,313,715
使用料・手数料	204,041
その他	2,109,674
純経常行政コスト	△ 3,642,291
臨時損失	42,636
臨時利益	51,896
純行政コスト	△ 3,633,031

職員給与のほかに、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額が計上されます。

物件費のほかに、施設の維持補修費や減価償却費が計上されます。

その他のコストには支払利息などが計上されます。

移転支的コストには社会保障の給付や他会計への繰出金等が計上されます。

行政サービスの直接的な対価である使用料・手数料と財産貸付収入などを経常収益として計上します。

## 1年間の行政コストを年収360万の家計に換算すると...



## ～貸借対照表の主な分析指標～

### 流動比率

翌年度支払い予定の負債額に対して、すぐに支払いに充てることのできる現金・預金などのぐらいいあるのかを示す指標です（流動比率＝流動資産÷流動負債）

宜野座村の流動比率 = 291.8%

### 純資産比率

現在所有している資産について、現世代でどのくらい既に支払ったのかが示す指標です。（純資産比率＝純資産÷資産総額）

宜野座村の純資産比率 = 89.8%